



# 森の息吹

No.161 9月号  
2019. 8月26日発行  
編集代表：五賀利雄  
0133-26-3738

## 8月の活動

## 里山づくり・炭焼き本番、窯出し ほか

7月28日～7月29日 炭焼き 参加者 28日 9人 29日 5人



いよいよ炭焼き本番です。早朝7時に小松氏により点火を行いました。しかし、なかなか煙突より煙が上がってこないのです。結局、通気口が詰まっていたことが判明し、一度掘り返して再度煙突を組み上げて空気の流れを確保しました。この作業で1時間あまりを費やしましたが、その後は順調に焚口から空気は吸い込まれ内部では火が燃え移って



いると思われます。煙突からの煙も例年になく勢いがあります。いいのでは。

ここまでは、なんの心配もありません。あとは、煙の色を見ながら、それぞれの時間を過ごします。桜田氏特製のカレー作りをお手伝いする人、朝から1杯頂く人。(拙者) テントを張る人。昼食前に煙は白から青に変わりました。煙の勢いもさらに増しました。



少し、焚口を狭める事にしました。

タイミングは難しいのですが、半分ほど入口を塞いで様子を見ます。



そして昼食の美味しいカレーも頂き  
もはや、全員、早々と、夕方から夜に向けての  
楽しいひと時の準備に余念がありません。



たき火を起こし、ジンギスカンで乾杯し、笹氏より頂いた貴重な日本酒に舌鼓を打ちました。そしてビールもガバガバ、お酒もガバガバで長い飲み会へと突入しました。最高の気分で中屋氏の青春時代の思い出にみんなは笑いこけそして・・・朝が来ました。ちょうど煙は透明になりかけていました。ここぞとばかりに焚口や煙突口を塞ぎ、空気の漏れがないか確認し、土をかぶせて終了です。



24時間の長きにわたる作業、誠にご苦労様でした。

8月4日

午前中に「協働の森」で草刈りをした後岡田邸で炭の窯出しを行いました。土を起こしトタンをのけると・・・なんと綺麗に炭化した、「これぞ木炭」が出来上がっていました。

やればできるぞ！ 良かったね。



## リレーコラム

### 瓢箪

山田 正志

今回は、いくつか感心した内容についてご紹介させていただきます。皆様には、すでにご存じのかたもいると思いますが、瓢箪について書いてみました。仕事で訪問した農家の方の玄関に瓢箪が飾ってありました。ネットでは、くりぬいて照明やニスを塗った置物がヒットします。その方は、気に入ったシールをマイペン（電熱で焦がす）でなぞって



作成しています。瓢箪の中身は、腐った水に漬け込み空気が中に入ってきたら鎮める作業をして1か月で腐らして空洞にします。

振ってみてカカカラ音が鳴れば、出来上がりです。

瓢箪の口からカラカラなっている種を掻き出せば栽培できます。栽培の方法は、ウリ科なのでキュウリの要領でつるすことで栽培します。

写真は、コンテナに2本の棒を通しその下にハッポースチロールの台で固定しその下の水につけるといった方法です。

瓢箪は全日本愛瓢会なるものが、昭和50年に発足し会員には会報もあると聞きました。

瓢箪を栽培し、様々な形の出来上がった瓢箪を形ごとに種を分けて保存すると、翌年同じような瓢箪ができるとのことでした。

又、文化祭の折には、飾り結びも指導するので 興味のある方はお出てくださいとの事でした。今回紹介したのは、厚田望来地区の高田 恭宏さんです。ただし、農家の方なので農閑期を選ばれたほうがいいと思います



### 9月の活動案内

### 安全作業に 努めましょう

### 木に触れて 林と遊び 森と育つ

#### 9月1日(日)

内容 午前 里山づくり 「モニタリング」サイトと苗畑（林間苗圃）の生育状況調査

集合 山田倉庫前に8:45 集合後に「協働の森」土取り場跡地の入口に移動

午後は福祉祭りの準備その2 詳しくは別紙です 弁当と飲み物必要です 桜田カレー

#### 9月7日(土)

内容 当別町社会福祉ふれあいまつり バザー他イベントに参加

集合場所 保健福祉センター「ゆとろ」敷地内バザー会場

集合時間 8:45 昼食はバザーで購入できます。終了は15時。

#### 9月29日(日)

内容 22世紀の森 下草刈りとキノコの観察会

集合場所と時間 山田氏倉庫前に9:00 持ち物 腰道具 刈払い機 飲み物 弁当



編集後記 スイカ畑の雑草を綺麗に刈り取りスイカに目印をつけて置いたら翌日、数十羽のカラス集団が悪魔のごとく飛来し辺り一面、スイカのみならずトウキビ、トマトも根こそぎかじっていきました。 オーマイガー！